

# WHAT IS THE “HMPA FORUM”?

HMPAフォーラム2026は、最新のHMPA研究成果とその多様な機能を共有することを目的とした学術集会です。腸内細菌によるHMPA産生メカニズムやエネルギー代謝における分子レベルの作用、血管機能や抗酸化効果、さらには脳機能への影響や食品分析技術など、幅広いテーマを網羅します。

本フォーラムでは多様な専門領域の研究者が一堂に会し、専門的な知見を交換することで、HMPAの新たな可能性を探求します。このフォーラムを通じて、HMPA研究の進展と応用が加速し、健康科学や食品開発における革新に寄与することを目指します。

**i** HMPA (3-(4-Hydroxy-3-Methoxyphenyl) Propionic Acid) は、ポリフェノールの効果を発揮する活性本体 (コアポリフェノール) の一つです。コーヒーに含まれるクロロゲン酸、柑橘類に含まれるヘスペリジン、ウコンに含まれるクルクミンなど、多くのポリフェノールはHMPAとして体内に吸収されることが報告されています。

※「HMPA」「コアポリフェノール」は丸善製薬(株)の登録商標です。

## EVENT DETAILS



### Date and Location

日時 2026年3月13日(金)13:00～

場所 フォーラム 国立新美術館 3F講堂(東京都港区六本木)

懇親会 ブラッスリーポール・ボキューズ ミュゼ(美術館内)

アクセス 東京メトロ 千代田線 乃木坂駅 青山霊園方面 改札6出口(美術館直結)

東京メトロ 日比谷線 六本木駅 4a出口から徒歩約5分

都営地下鉄 大江戸線 六本木駅 7出口から徒歩約4分



### Event Program

1. 乳酸菌のHMPA産生機構の解明と生産への応用  
岡山理科大学 教授 三井 亮司
2. GPR41を作用機序としたHMPAのエネルギー代謝機能  
京都大学 教授 木村 郁夫
3. HMPAの生体利用性  
九州大学 教授 松井 利郎
4. HMPAの抗酸化活性と抱合化の影響  
神戸大学 教授 榊原 啓之
5. ポリフェノールの機能性腸内細菌代謝物HMPA  
丸善製薬 栢木 宏之
6. HMPAの認知機能に対する有効性  
丸善製薬 塩飽 力也
7. 食品からのHMPA分析技術に関して  
丸善製薬 川本 広明
8. 懇親会 フォーラム終了後、施設内レストランで懇親会を開催します。

## APPLY HERE

下記URLもしくは右のQRコードからお申し込みください。

<https://forms.gle/QHfNXuSytMGrV37v8>

参加費：無料 (フォーラム、懇親会共に)

